

日本共産党 和歌山市会議員 大くさ主馬ニュース

07年10月28日 電話435-1113 (市議団)



「財政赤字」失政のつけ。市民へ押しつけるな！ 九月議会で市長に質問

私は、9月議会で財政問題を取り上げ市長と論戦をしました。

政府は、国家財政の赤字を地方に転嫁するために「構造改革三位一体改革」の名のもとに、地方交付税削減をはじめ、地域間格差を広げてきました。炭鉱閉山の跡処理を市におしつけ、借金を増やすりゾートト開発をあおってきた国と道庁の責任を全て夕張市に転嫁し、夕張市を財政再建団体に追い込んだのはその象徴です。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の公布(6月)で、一般会計の上に特別会計を含めた「連結実質赤字」を新しい基準として財政再建をすすめることとなります。

特別会計に膨大な赤字をかかえる和歌山市は財政の見直しが迫られています。

私は、市長に「財政健全化法」についての認識と、国の全面的な責任である大滝ダム追加工事を当初負担をしないとしながら、急に方針を変え、追加負担を承諾したことによる工事負担金の今後の見

通しについて質問しました。また、

財政局長に、赤字の多いつじヶ丘造成事業、下水道事業、国民健康保険の三会計について、それぞれ一般会計からの法定外繰り入れ、法廷内当初から繰り入れを義務づけの繰り入れ額について質問しました。

市長は、「和歌山市が財政再生団体に陥らないよう、特別職及び管理職員の給料引き下げ、各種の値上げ、重度心身障害児者医療費補助の打ち切り」などをすすめ、「大滝ダムの追加負担は9億円で、そのうち市の負担6億円。今後負担が増えることのない様に国に要望する」と答弁しました。



赤字の多い特別会計では、純粋に一般会計からの法定外繰り入れは下水道7億円、国保は2億円と答弁しました。

従って特別会計での赤字の膨らみは、市の失政のツケである土地造成(つじヶ丘)事業が大きな比重を占めていることが判明しました。

国保会計、単年度3億円の黒字！

06(H18)年度決算特別委員会の審査では、国保会計の累積赤字解消が問題となり、私は、一般会計からの繰り入れの増額を求めたところ、副市長は、「繰り入れを増やす」と答弁しました。

もともと和歌山市は、本来国が負担すべき法定内繰り入れが3億円余りで、一般会計からの繰り入れは2億円足らず。また、単年度3億円の黒字となり、本来は高すぎる保険料の引下げをすべきですが累積赤字解消にふりむけられていることも明らかとなりました。

「飛びある記」

今年の夏は本当に暑かった！

- 九月
- 一日 日中友好協会役員会
 - 三日 幹事長会議・議会運営委員会
 - 五日 団会議
 - 六日 一般質問通告
 - 十日 九月議会はじまる
 - 十二日 一般質問
 - 十三日
 - 二十日 常任委員会
 - 二十五日
 - 二十八日 議会運営委員会
 - 二十九日 国民救援会総会
- 十月
- 一日 本会議 九月議会終了
 - 二日 団会議
 - 三日 ポートピア問題で 市長へ申し入れ
 - 四日 団会議
 - 六日 自治研の学習会
 - 九日 団会議
 - 十日 決算委員会
 - 十六日
 - 十七日 団会議
 - 二十三日 都市計画審議会
 - 二十四日 議員団学習会
 - 毎週金曜日夕方、
 - 奥村県議と市駅で宣伝
 - 毎週月、木曜日は生活相談日です

市長退職金4年で2986万円を受理。 教育費の増額を！（決算委員会審議で）

10月の08年度決算委員会で私と南畑さち代市議が審査に当たりました。

教育費は基金による学校の耐震補強工事を除くと一般会計の7.87%と少なく、学校管理費の削減で所々修繕など緊急に対応できない事例がありました。

財政危機がさげばれている中で国からの地方交付税が前年よりマ

西和中学校校舎の 改築はじまる！

PTAや地域のみなさんの要望で校舎は、07年から09年7月までの工期、工事費は6億3550万円（除・電器、機械）で本体工事がはじまっています。

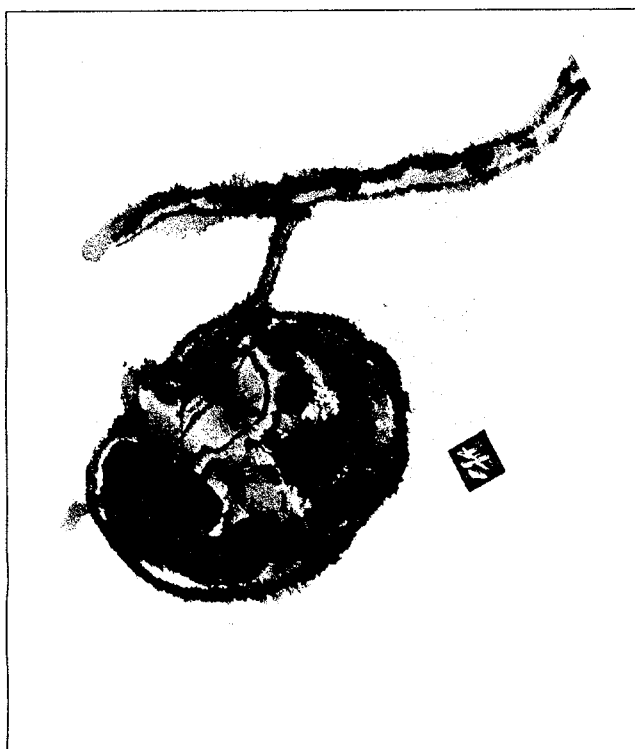
工事期間中の学校開放でトイレが使えなくなっていること、校舎のバリアフリー化を教育委員会に申し入れたところ、さっそく実状を聞いてもらい、移動用トイレを設置するとの回答をもらいました。

イナス8.78%の105億にとどまりました。本来国が出すべき交付税が毎年削減され、その分地方の借金を認めてきた公債費の100億円が含まれていますから実質和歌山市が受け取ったのはわずか5億円といえます。

地方分権とは名ばかり、一方で旧同和対策は法期限終了後も子ども会関係で1億9千万円、住宅家賃の減免で4億円余、エレベータ

―管理人報償費1416万円など一般公営住宅にはない不明瞭なものも継続されており。このような不正な事業は、ただちに廃止し住宅申込は早急に公募にすべきです。また貸付事業でも未償還分が永年放置し多額の未返還金が残されています。

市長が前期（4年間）の退職金2986万円を受け取っていた事も私の質問で明らかになりました。高級官僚の天下りではありませんが首長の退職金も多すぎ、削減すべきだと主張しました。



県市政報告会

奥村のり子県議、大くさ主馬市議が報告します。

「下水道使用料、都市計画税値上げで家計を直撃・・・」「障害者福祉はどうなるの・・・」
要求を県・市政で実現するためがんばっています。みなさん、ぜひおこし下さい。

日時 11月6日(火)夜7時半～

場所 大くさ主馬事務所(旧選挙事務所)